

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1280
施設名	上田せせらぎ保育園
施設所在地	東京都日野市上田488-2
法人名	社会福祉法人貴静会

1. 活動のテーマ

<テーマ> 音

- ・いろいろな音に触れる。
- ・心地よい音を感じる。
- ・どんな音がするのだろう。
- ・音をならして楽しもう。
- ・音に親しむ。

<テーマの設定理由>

- (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
- ・いろいろな楽器を使い乳児が音に触れる機会を増やす。
 - ・自分の心地よい音を見つけ音をならして楽しめる環境を作る。
 - ・主体性を重視した保育を行っている。

2. 活動スケジュール

R6/11月 1名
12月 1名
R7/ 1月 3名
R7/ 2月 クラス全体

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
ミュージックパット、ベルハーモニー(デスクタイプ)、なかよしリズムパンダ楽器セット
(エッグシェイカー、カスタネット、ウッドギロシェイカー、鈴、タンブリン)
一時保育室を利用し少人数で落ち着いて楽しめるよう環境を設定した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・自由に楽器に触れる。
- ・気に入った楽器の音をならす。
- ・友だちがならしている楽器の音を聞く。
- ・いろいろな楽器の音をならす。

<活動中の子ども姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

R/6/11月 いろいろな音がなることを発見し喜んですべての楽器をならしていた。

一緒に楽器に触れながらひとつひとつの音を聞き視線を合わせて共に発見した喜びを共有した。

R/6/12月 前回遊んだ楽器だったこともあり、すぐに音をならし始めた。ミュージックパットの音階の色と同じ色のところにベルハーモニーをのせ満足そうだった。同じ色だねと共感すると笑顔を見せていた。

R7/1.2月 保育者が歌をうたうとそのメロディーにあわせ楽器をならしたり歌をうたったり楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・少人数で活動を行った。初めは様々な楽器に興味を示し、鳴らすことを楽しんでいた。次第に自分の気に入った楽器を見つけたのか、同じ楽器を繰り返し鳴らしていた。自分の気に入った音を言葉にして、友だち同士楽しむ様子が見られた。保育者が「山の音楽家」を歌いだすと自然と歌に合わせて楽器を合わせようとする姿が見られた。自分の好きな楽器を見つけ、そこから音を合わせようとする姿が見られたのは驚きでもあり、子どもたちの自発的な姿だった。